



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

C/O KITAMURA BUSINESS CONSULTANTS OFFICE  
 503 Shinsoibashi Urbanlite  
 1-5-12 Nishi-Shinsoibashi Chuou-ku  
 OSAKA 542 JAPAN

OCTOBER 1995. No. 4

The Service Club to the YMCA  
 Chartered September 25, 1982

MOTTO (1995~1996)

- IP "Youth-Our Heritage-Our commitment" 「ユース-我らの財産-我らの誓い」  
 AP "Y'sdom working with YMCA, Y'sdom working with Youth" 「ひとつとなって青年とYMCAへ」  
 RD 「共に生きる喜びを確信しよう」  
 DG 「今、ワイズの原点を見つめよう」  
 CP 「ひとりびとりを大切に！」 "Valuing each and every person"

=月間強調テーマ「EMC-E」=

= 10月の聖句 =

主は一人、信仰は一つ、洗礼(バプティスマ)は一つ、  
 すべてのものの父である神は唯一であって、す  
 べてのものの上にあり、すべてのものを通して  
 働き、すべてのものの内におられます。

(エフェソの信徒への手紙 4章5-6節)

= 10月お誕生の方 =

Happy Birthday to following people.....

山村メネット 9日 秋月メネット 28日

= 10月第2例会 =

日時：1995年10月25日(水) 6:30~8:30 p.m.  
 場所：大阪グランドホテル

=== 10月第1例会 ===

日時：1995年10月18日(水) 6:30 ~ 8:30 p.m.  
 場所：大阪グランドホテル

司会：長瀬由香子君

1. 開会点鐘 柴田 健会長
2. ワイズソング ー 同
3. 聖句朗読 山田 孝彦君
4. ゲスト紹介 柴田 健会長
5. 日々の糧及び黙禱 ー 同
6. 晩餐 ー 同
7. 卓話：

「EMC-E(クラブ拡張)について考える」

日本区EMC事業主任 本島 紀之様

8. お誕生日祝い ー 同
9. ニコニコ献金 ドライバー
10. 役員会・委員会報告・YMCAニュース
11. 閉会点鐘 柴田 健会長

9月在籍者	9月出席者		9月出席率	BFポイント
29名			65.5%	9月分切手 748 pts
広義会員	メン	第1階 19名 第2階 9名	(マイキップ記)	現金 7,220 pts
0名	メネット	5名 0名	前月出席率	
合計	コメット	0名 0名	修正65.5%	本年累計
29名	ビジター	1名 0名		切手 4,508 pts
	ゲスト	0名 0名		現金 8,920 pts
	合計	25名 9名		

煙草センターメソッドクラブ  
 役員

会長：柴田 健  
 副会長：黒田 巖之  
 "：佐藤 勝雄  
 書記：栗山 佳三  
 会計：秋月 利英  
 "：津田葉清政

◎10月第1例会当番：(第2班)

鈴木君、山田君、杉浦君、足立君、長瀬君、金沢君、藤原君：  
 会場の受付・準備・後片付けなど宜しくお願いします。

○ニコニコ献金：

22,710円



## 今月の聖句に寄せて

キリスト教の伝統的教派の主なものは、プロテスタント、カトリック、ギリシャ正教の3つであるが、近頃は統一教会やエホバの証人などキリスト教と稱して、聖書の一部のみを拡大解釈して信仰の基礎としたり、聖書にない教えを強調するグループの信者も少なからずあるようだが、キリスト教会は、本来“主は一つ、信仰は一つ、バプテスマは一つ”と主張し、信仰と教理が聖書全体にもとづき、基本信仰を告白する所にある。この観点からキリスト教をみるのが大切である。

(聖句撰・解説： 田中 穰二)



方々に特別出席の声をおかけすべきであった(数人のご出席はあったけど)。結果としてスピーカーにも失礼なことをしてしまった、と筆者(副会長、プログラム委員の一人として)は素直に反省しながらの帰途であった。

なお、YMCA究極のバザー、当クラブ参加者は6名(平田、佐藤メン、柴田、隅田、平田、佐藤メネット)楽しみながら、十分奉仕してきた旨、報告があった。

## = 9月第1例会報告 =

(9月20日(木) 6:30 p.m.)

佐藤勝雄

司会者である鈴木さんが、今月のゲストスピーカーを、神戸クラブの前田美智子メネット(前国際メネット事業主任)にお願いするのは黒田さんの発案だったが、残念ながら、黒田さんは今病床にあるので、と前置して彼女を紹介した。

前田さんは、センチニアルのブリテンを見ると、会員は気張っても、威張ってもいないが、頑張っているのがわかる、と話を切り出した。「Y'sdomにおける女性の使命-その将来展望-」と題しての卓話は、メネットの立場の変遷の説明を通して語られた。可愛いメネットか、自立するメネットか。人にもより、国にもより、それぞれの考え方があるが、それにしても、メネットも既に70年の歴史を経て、世界的に7千人位迄増えている大きな流れの中で、いずれ、メンのサポートに止まらず、メンと対等の立場にまで自立するようになると思う。メネットの自分で納得する行動が自立を呼んで行くのではないか、と話された。

30年前に、芦屋でご主人と夜の散歩途中、捨て子の現場に居合わせた。自分が世話をしてオランダ人に育てられ、成人し、結婚、子供もいて幸福そうな彼に数年前シンガポールで再会したのは、大変な喜びであった。しかし最近、オランダ人社会では、自分は日本人であり、日本人社会に行けば中途半端なこともあり、人生の波に揉まれて悩む彼の事が心配だ、と言うお話も伺った。

彼女の、出席者との対話を随所に挟む話の進め方、よく内容を詰めた準備のご努力、それに勿論卓話の内容は素晴らしい、感動した。もっと多くの人に聞いて頂きたかった。メネット強調の月だから、メネットの

## = 9月第2例会報告 =

(9月27日(木) 6:30 p.m.)

1. 第7回中西部会(10/14): 多数の出席を会長より要請。「会長の5分提言」は会長に一任。
2. 日本YMCAキャンプ75周年記念事業 CAMP FORUM 95 IN JAPAN アジアからの参加者への協力金: 期限遅れのため提出しない。
3. 第10回日本YMCA大会(11/23-25)参加: 出席者確認
4. 在留外人・留学生とのクリスマス(12/15)の企画に参加者を募る(9/28於てYMCA)。
5. B Fコンテストの基準改訂: 7/30-8/3国際会議にて。(別掲参照乞う)
6. 留学生ゲスト会員: ミャンマーから大阪工業大学(3年)留学中のヤン君(YMCA日本語学校卒)を暫くゲスト的に顔を出してもらう。10月例会に笹江氏同行
7. 10月第1例会(10/18): 別掲プログラムの通り。
8. 11月第1例会(11/15)(BF, EF): 次回例会後、会長鈴木君、佐藤君と相談、隅田フェンド委員長の見聞を聞く。
9. 12月クリスマス例会: 委員会を作り計画する。
10. ボランティア・フォーラム95(10/7): 出席要請。
11. YMCA会員のつどい(10/21): 出席と献品要請。
12. その他: (賛: 猷)



《なかのしまウィメンズクラブ》  
9月準備例会報告

杉浦 眞喜子

やっと暑い夏から抜け出した9月13日、新クラブ「なかのしま」の11回目の準備例会が開かれました。準備例会を始めてちょうど一年たったこととなります。8月例会はセンテニアルと合同のビアパーティーでしたので、ちょっと久しぶりの単独での例会。とは言うものの、センテニアルの隅田メネットを初め、センテニアルの新クラブ設立準備委員のおじさま方など、今回もたくさんのお仲間を交えて賑やかな会となりました。(お仲間の方が多かったかな?)

今回は大阪セントラルクラブの長尾ひろみさんにお出で頂き、「スペシャルオリンピックスーアメリカのボランティア」という題でお話をお願いしました。ビデオを見ながら今年7月に米国コネティカット州で開かれたスペシャルオリンピックス世界大会を中心としたお話。知的障害を持つ人とコーチの健常者とのふれあい、競技をやり終えた後の彼らの晴れやかな顔、など、つい目頭が熱くなることもしばしば。この運動を通して障害を持つ者も健常者も共に生きていける世の中が出来ていくかもしれない、そんな希望を感じることが出来、また私たちの周りが何か変わりそう! 私たちにも何か出来そう! そんな思いでうれしくなるようなお話でした。この感動を新しいクラブの活動にも生かしていけたらいいのに・・・と思えたのは、私一人では無かったはずです。

なかのしまメンバーの出席者は、川木、戸田、山地、杉浦と今回も少なかったのですが、半田、本間さんという2人のゲストを迎えました。このお二人が我々の仲間になってくださればいいのに、と切望しきりです。会も終わりがけの頃、YMC A常議員会に出席していた松下さんも駆けつけ、次回は一つセンテニアルのおじさま方お仲間抜きのお話をやってみようか? との相談もまとまって、楽しく会を閉じました。

= B F 9月分報告 =

(BFポイントは第1面に掲載)

◎切手・現金提供者: (継続、計額)

池永、奥野、栗山、柴田、杉浦、鈴木、田中、谷川、津田葉、福永、三浦、山田

以上 12名

◇鈴木名誉理事が、6,720 pts 分の未使用切手を提供して下さいましたので、現金ポイントとさせていただきます。

◇今月もたくさんのお切手・現金を有難うございました。(BF 長瀬)

中西部 合同メネット会 に参加して 柴田 暢子

9月27日(水曜日)土佐堀YMC A会館9階にて開催され、センテニアルクラブからは、鈴木美藤メネット、福永滋子メネット、田中豊子メネット、平田由喜子メネット、隅田恵子メネット、柴田の6名が参加。

私は、クラブの抱負をお話する事など、何分初めての経験であがってしまいましたが、何とか御挨拶が終りましたこと、ほっとしております。

鈴木様の奥様がよかったよ、とおっしゃって下され、またがんばっているネと云ってくださる方もいてくださり、うれしく思っております。

大阪クラブの生地メン・メネット、前島メネット、河内クラブの伊藤メネットにもお会い出来ました。

プログラムは薬学博士の林輝明先生が「若さを保つ食べ物」として特に豆類が良い。納豆、高野豆腐、お寺のお坊さんの精進料理が良いなど面白おかしくお話くださり、大変ためになりました。

御出席くださいました皆様ありがとうございました。

~ メネットよりの 御報告 ~

「ミラノからの留学生を迎える為の

究極のバザーに参加して」

柴田 暢子

大型の台風が関東地方を通過するというニュースが心配でしたが、幸い関西は大丈夫というので、私は急用があり、午後すぎより出席致しましたが、早くから弁天町の会場には、佐藤メン・メネット、平田メン・メネット、隅田メネット、柴田の6名が参加。

夕方には肌寒いなかを皆様頑張ってくださりまして、何とかお力になれました事をうれしく思っております。各々が買物のひとときをも楽しみました。お休みの所をご参加下さったメン、メネットの皆様、ありがとうございました。

== お知らせ ==

〈河内ワイズメンズクラブ〉

創立20周年記念例会

- ・日 時: 1995年10月29日(日)
- ・受付開始: 12:00 ・開会: 13:00 ・閉会: 16:30
- ・登録費: 入: ¥7,000 ネット: ¥5,000
- ・場 所: 大阪国際交流センター  
(天王寺区上本町8丁目2-6  
☎ 06-772-5931)

◇申込は柴田会長まで、締切: 10月10日(火)



IBC ニュース

谷川 寛

- ◇今年7月、私たちのハワイのブラザー、ヌアヌのL・ヒラナカ夫妻が来阪しましたが、その折、センテニアル有志と神戸の被災地にある西神戸YMCAランチを訪問しました。
- ◇帰国後同氏から、神戸YMCAの支援について再三問合せあり、ハワイ区が神戸の被災地救援のために集めていた\$15,000相当を、神戸YMCAの復興募金として、送金する旨連絡ありました。
- ◇この度、日本YMCA同盟のワイズ事務所に、この募金が送金されて来ました。神戸YMCAの牧田副総事は、日本はじめハワイのワイズメンまでが、神戸YMCAのことをおぼえて、支援いただいていることに心から感謝します、との手紙がありました。

▽▽▽

世界YMCA /  
ワイズ最新事情  
『オーストラリア・ワイン』

谷川 寛

久しぶりにオーストラリアを訪れました。オーストラリアは、かつてはワイズ運動も大変盛んで、国際会長も何人も輩出しましたが、今はその面影もありません。日本のいくつかのクラブとブラザー締結をしましたが、今は彼らの高齢化もその理由で、あまり接触がありません。一方、YMCA運動は、こちらまわりしていますが、メルボルンに同盟本部をおき、地道な活動を続けています。アジア同盟にも所属し、アジアの一員として生き残ることに傾注しています。

さて、今月はオーストラリア・ワインのお話。フランスやドイツに較べて未だ知名度は低いかもしれませんが、「値段が安いわりになかなかうまい」というのが一般の評判です。南オーストラリアのアデレード郊外が最大の産地で、ドイツ系の人々によってはじめられました。赤ワインより白ワインのほうが人気があります。食事には必ずワインが出され、朝食のメニューに「シャンペイン・ブレックファースト」というのがありました。

10年以上前に訪れた時、友人に勧められて「カスク・ワイン」を買いました。これはボトル詰めでなく、ミルクの紙パックを容器に使ったものです。これに蛇口がついています。持ち運びに大変便利です。しかし、この容器のワインはあまり上等のものは少ないようです。今回は入手の機会がありませんでした。代って、

一本A\$10(約750円)のライン・リースリング(白ワイン)を6本入手しましたが、日本に帰って、テニス仲間に披露しますと、なかなか評判がよく、女性にはこれをジンジャーエールで割った“WINE COOLER”が好評でした。

最近、日本でもワイン人口が着々と増加しており、低価格のワインはもっと需要がのびるでしょう。

BF コンテスト  
基準改訂について

— (日本区BF・EF事業主任 小川幸治氏より  
各部部长、BF・EF主査宛書状による) —

1995年7月30日～8月3日の国際会議でBFコンテストの基準が改訂されました。国際協会でのBFコンテストは次のAとBの合計で競うことになりました。

- A. 現金による貢献 ⇒ 換算されたUS\$額
- B. 使用済み切手の  
換金額 ⇒ 換算されたUS\$額

これまでの「ポイント」と言う表現は廃止され、使用済み切手は種類を問わず枚数で数えられます。従って「キログラム」表現もなくなりました。これからは使用済み切手がいくらに換金されたかに関心が持たれます。

今期BFポイントを4000P/人として目標値を設定しましたが、9月より今期BFの目標値を下記の通り改訂させていただきます。

1. 現金 ¥3,000/人 ⇒ 日本区BF会計へ
  2. 使用済み切手(混合=大型・小型・通常)を10kg単位にて 福尾フィラテリー事務所へ、切手10kg 当り ¥6,000 とする。(10kg=10.05kg) 決済は毎月末日締切り翌月福尾氏が各クラブごとに日本区会計に振り込む。
- 日本区BFとしては、暫定的に10kg⇒6,000枚と計算して「コンテスト」を競う。

☆世界各地のクラブメンバーYMCAと交流し、より多くの世界のメンバーと親睦をはかり、ワイズガムの大使・友情の大使・理解の大使・平和の大使として活用する機会を与えるのが我々の願いであります。BF活動の最終目的はBF事業のために基金を作ることです。

☆参考：BF基金の支出：①計画の運営(約5-10%)  
②国際役員の旅費(約15-20%) ③BF代表(約40-50%)  
④地域の自由裁量による旅費(約20-30%) ⑤区への還付金(約3-8%)

\*\*\*





(村人によるタイの伝統楽器による演奏)

## タイ体験ツアー

笹江良樹

大阪YMCA国際・社会奉仕センターでは、今夏の8月19日(土)～26日(土)まで、「長い歴史と風土に育まれた伝統と近代化」に揺れ動くタイの現実と人々の暮らしを学ぶ「タイ体験ツアー」を実施しました。

今年の参加者は、全員女性で、しかも伊丹市教育委員会派遣の教員を含む小学校、中学校、国際高校さらに養護学校の教員が半数以上を占め、昨年以上に礼儀正しいグループとなりました。その結果、参加者の学習熱も強いこともあり、事前にタイの歴史、文化は勿論、さらに政治、経済、果てはタイ語会話の練習も含めた研修会を開く事になりました。

かくして8月19日(土)をむかえ、一路バンコクへ。空港からバンコク市内に向かう車窓の風景は、皆が期待した常夏の国を連想させる透き通った青空ではなく、スモッグでどんよりした空と延々と続く渋滞の車、その車から吐き出される排気ガス、コンクリート剥き出しの建設中の多くのビルディング…と年率8%を越すタイの経済成長の勢いに皆が圧倒されました。3泊4日の慌ただしいバンコクでの滞在期間中に、市内に1,400カ所、150万人以上が住んでいるといわれるスラム地区の一つ、ブルワン・コミュニティとエリート養成の高校を訪問。ブルワン・コミュニティでは、おじさんとおばさん、子供達と一緒に汗を流し、託児所の屋根を作ったり、ベンキを塗ったりの交流となりました。食事の後は、ブルワンの指導者から生活改善の取り組みや識字教育の実践などについて貴重な話をきかせていただいた。また、スラムの子供もエリート教育を受けている子供からも将来についてたくさんの夢や希望を聞かせてもらいました。国を背負って立ちたい

とか、家族のために早く稼げるように一生懸命頑張りたいとか、頼もしい言葉が返ってきました。

一方、旅の後半の北タイでは、チェンマイから車でひた走ること3時間で、ファイサンブラッププラ村に到着。早速、村人と入会地で木をすっぽり覆っている蔓草を刈り、目標1,000本の植林を開始した。環境問題の解決のためにお手伝いに来ているのか、邪魔をしているのか分からないワークキャンプも村人の途切れることのない笑い声や声援で何とか完了。村でのファームステイは、高床式の構造で、風通しも良く過ごし易い。また、夜は満天の星のみならず、何千、何万もの螢が飛び交う幻想的な光景が展開されていた。しかし、このような自然の豊かさにも拘わらず、多くの村人が出稼ぎに行かざるをえない経済・社会環境がタイの現実にはあります。タイが抱える問題は根が深い。土中深く張った根を一本一本掘り出す作業に似て忍耐強い解決が必要です。今、北タイ農村では、「環境を守るために村の人が一丸となって村の緑を守るため協力しあう運動が生まれつつあると聞きました。北タイの寒村でも少しづつであれ、確実に変わりつつあるタイを感じました。

一週間という駆け足でしたが、環境と開発、都市と農村の経済格差、性産業等タイの光と影の部分を通じてタイの現実を学びました。「ほほ笑みの国タイ」は、バンコクではなく、地方にはまだまだ多く残っていることを発見したツアーでもありました。

▽

### 大阪YMCA会員のつどい1995 ～協力会員・ボランティアの夕べ～

日時：1995年10月21日(土) 6:00～8:00 p.m.  
会場：大阪YMCA会館ホール(2階)  
会費：¥2,000 主催：大阪YMCA  
事務局：大阪YMCA国際・社会奉仕センター  
(☎06-441-5598)

▽ 神戸YMCA復興募金チャリティーコンサート ▽

レーナ・マリア・コンサート  
日時：1995年11月4日(土) 6:00p.m.開演  
場所：神戸文化ホール・大ホール  
入場料：¥3,000(チケットはYMCAにてお求めください)  
主催：近畿圏YMCA

### ◎95/96年度日本区強調月間アピール

10月 EMC-E

RSD 本島 紀之(總センター)

新クラブ設立に 焦らずに、じっくりとクラブに力を蓄えてください。親クラブの深い愛情のなかで生まれた小クラブは、すくすくと育ちます。リーダー(キーマン)になる人の勉強が大切です。



## ◆◆◆ クラブ・ソング ◆◆◆

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing;  
We raise our hand, Our service pledge renewing,  
Ne'er to deny our motto's claim,  
Y's Men in fact as well as name,  
Always our objects to pursue,  
We consecrate ourselves anew.

うたえば ころろひとつに  
ともがき ひろがりゆきて  
とおきも ちかきもみな  
ささげて 立つやワイズメン  
さかえと ほまれゆたか  
まことは 胸にあふれん

## ☺ ニコニコ・メッセージ ☺

- 前田美智子さん、有益なお話有難うございました。  
・・・秋月利英
- Y'sメネットの歴史は、まるで女性の歴史のように感じながら拝聴いたしました。貴重なお話をありがとうございました。  
・・・池永栖子
- 身近に存在しながら、あまりよく知らなかったメネットの活動や歴史について、前田さんからお話いただき楽しかったです。  
・・・奥野哲也
- ワイズメネット、そしてワイズにかかわる女性の奥深い話を前田メネットからお聞きできて大変良かったと思います。  
・・・掛江康一
- 当クラブのメネットさんのクラブサポート、YMCAに対する協力に感謝いたします。  
・・・栗山佳三
- 前田美智子様 の Y'sdom における女性の使命について史的展開も含めての貴重なお話し有難うございました。  
・・・笹江良樹
- ワイズメンズクラブにおけるメネットの歴史、果たしてきた役割、その間における女性活動の範囲のひろがり、面白くうかがいました。  
・・・佐藤勝雄
- 本日は楽しい例会でした。鈴木メンの司会で大変スムーズに運びました。又直前国際メネット事業主任前田美智子様のメネットの歴史大変役に立ちました。黒田さん早く良くなって下さい。お祈りいたします。  
・・・柴田 健
- 先月はお休みしてすみませんでした。メネットの方からお花をいただいたり、カードやお便りをいただいたりしました。ほんとうにありがとうございました。  
ワイズの女性問題、複雑で解りません。メンもメネットも楽しく仲良くやればいいのでは……？  
・・・杉浦眞喜子

- 前田美智子さんの素晴らしいスピーチは、今後のY'sdomの展望を画く上に大変有益だったことを感謝。  
・・・鈴木謙介
- 前田美智子さんをお迎えしてY'sメネットのことを説明して頂き、メネットの世界的の働きをお聞きして、これからの奉仕の面でよきメネットとしてメンのお愛い、パートナーとしてクラブの中で働き度いと思いましたが。今夜は希望を与えられ感謝です。  
・・・鈴木美藤
- 前田メネットのスピーチに感謝。  
・・・田中穰二
- Y'sメネットの位置づけについてのお話、ID経験の前田美智子さん、どうも有難うございました。  
・・・谷川 寛・有美子
- 本当に強いのは男性よりも女性ですね。これからも女性の力でメンを助けて下さい。前田さん、ありがとうございました。  
・・・津田葉清政
- ゲストの前田さんのお話興味深く聞かせていただき、考えさせられました。  
・・・長瀬由香子
- 久しぶりに例会に出席できる様になりましたが、大変な盛会で、会員としての出席の義務を改めて痛感致しました。  
・・・藤原正巳
- ワイズメネットについて再認識しました。これからのテーマの一つと思います。  
・・・三浦直之
- 震災以来途絶えていた体調トレーニングを再開しました。その途端ジョギング中に転んで怪我をしました。それでもめげずに頑張ります。  
・・・山田孝彦
- 前田さんのお話でメネットの立場が理解されました。  
・・・山村幸明
- 前田メネットのお話ありがとうございました。センチニアルのメネットもがんばりたいと思います。  
・・・山村利子

◇元会員の藤本史郎さんから鈴木謙介様ご夫妻に次のようなお便りが参りました。

— (前文省略) —

私も当地に赴任して早や6か月が過ぎようとしております。新しい仕事にも慣れ元気しております。センチニアル在籍中は何のお役にも立てず心苦しく思っております。8月のブリテンを送って頂き懐しく読ませて頂きました。皆様によろしくお伝え下さい。私の勤務地は金沢から少し能登へ入った所です。機会がありましたら是非お立ち寄り下さい。 敬具

(住所) 石川県河北郡宇ノ気町字森力 1-3

KAURIハイツ 304 (☎0762-83-4699)

(勤務先) 北陸グリーンヒルゴルフ(☎0762-85-2121)

### 【個人消息】

黒田厳之君： その後順調に回復されて、病院内を散歩できる程になっておられます。

一日も早く全快されるようお祈りいたします。